

語り継がれる、天才の秘密。



ピカソ 天才の秘密

The Secret of Picasso's Genius

関連プログラム1 記念講演会

本展の関連プログラムとして、記念講演会「ピカソ：青の世界の秘密(仮)」が2月7日(日)13:30～15:00、愛知芸術文化センター12階アートスペースAにて開催される。講師は大原美術館館長の高階秀爾氏。美術の幅広い研究・評論活動を行っており、ピカソの重要な伝記『ピカソ—その生涯と作品』の翻訳や『ピカソ—剽窃の論理』などの著作でも知られている。記念講演会を聴講希望の方は、往復はがきに、郵便番号、住所、氏名、電話番号をご記入の上、愛知県美術館「ピカソ、天才の秘密」係までご応募ください(はがき1枚につき1名のみ、先着150名)。



関連プログラム2 スライドトーク

1月31日(日)、2月14日(日)、28日(日)の11:00～11:40、2月19日(金)18:30～19:10には、愛知芸術文化センター12階アートスペースAにて、スライドトーク(学芸員による展示説明会)が行われる(聴講無料、申込不要)。展示会の見どころや作品解説に加えて、担当学芸員の本展にかける思いなどが聞けるかも。展示会と併せてぜひ足を運んでほしい。



ピカソ、天才の秘密

2016年1月3日(日)～3月21日(月・振休)

愛知県美術館

10:00～18:00 ※金曜日は20:00まで

(入館は閉館の30分前まで)

休館日:毎週月曜日(ただし1月11日(月・祝)、3月21日(月・振休)は開館)、1月12日(火)

※1月4日(月)は特別開館。

一般1,500円 高校・大学生1,200円

※前売・団体は各200円引き ※中学生以下は無料

美術に興味がなくても、パブロ・ピカソ(1881-1973年)の名を知らないという人は、おそらくいないだろう。ピカソといえば「変な絵を描く人でしょ」という方もいるだろうが、彼は「不世出の天才」と称される20世紀を代表する画家である。

ピカソが天才と呼ばれるのはなぜか? たとえば、13歳の時に描いた鳩の絵があまりに見事で、美術教師だった父が絵を描くことをやめてしまったというのは、彼の「早熟の天才」ぶりを物語る伝説だ。画家となつてからは、本展で焦点を当てる「青の時代」から「バラ色の時代」、さまざまな視点から見えた対象の形を一つの画面に収めた「キュビズムの時代」へと数年ごとに作風を変化させた。その後もキュビズムが同時代の作家に多大な影響を及ぼす中、イタリア旅行中にギリシア・ローマ美術に触れたことから、量感のある母子像を多く描いた「新古典主義の時代」、不穏で暴力的なまでに人体を

歪めて描いた「シュルレアリスムの時代」、「ようやく子どものような絵が描けるようになった」と語つたという「晩年の時代」へと展開。一つの作風に留まることのない「変化の天才」だった。

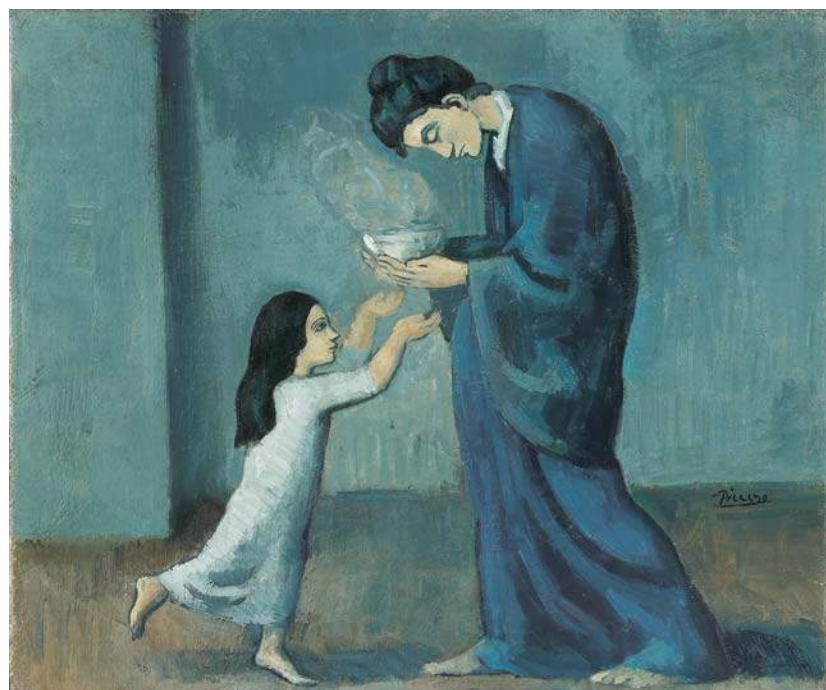
また、最も多作な美術家としてギネス世界記録をもつピカソ。その旺盛な創造力で91歳で亡くなるまでに残した作品は、油絵・素描1万3500点、版画10万点、挿絵3万4000点、彫刻・陶器300点とも言われる「多作の天才」である。その結果、彼の遺産評価額は日本円にして7500億円にも上り、美術史上、ピカソほど生前に経済的成功を収めた画家はいないと評される、いわば「ビジネスの天才」でもあった。

本展では、ピカソの前半生の作品を紹介しながら、彼の天才たる所以を探る。少年時代から「青の時代」「バラ色の時代」「キュビズムの時代」の作品を通観することで、ピカソの凄さを目の当たりにできる展示会だ。

20世紀美術最大の造形革命 キュビズムを創始した画家、ピカソ 彼の天才たる所以に迫る展示会が開催



取材・文：田中由紀子

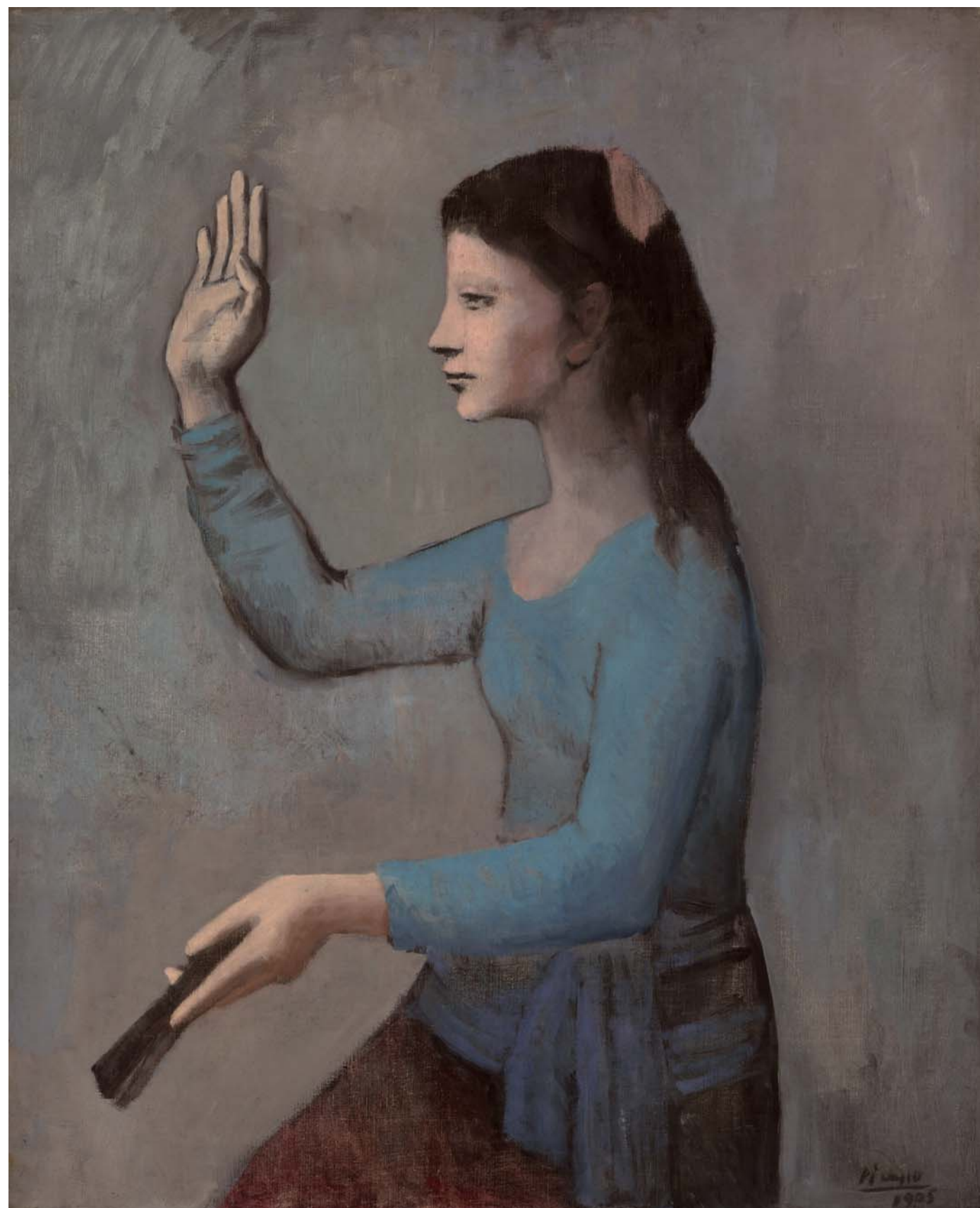


《スープ》1902年

油彩、キャンバス 38.5×46cm オンタリオ美術館

Art Gallery of Ontario, Gift of Margaret Dunlap Crang, 1983, 83/316
©2015-Succession Pablo Picasso-SPDA(JAPAN)

親友カサジェマスの自殺を契機に、ピカソは貧しい人々や体の不自由な人、娼婦など社会の周辺で生きる人々の姿を青色の陰鬱な色調で描くようになる。彼らの悲しみや苦悩、不安、絶望の中にあっても失われることのない尊厳と、ピカソのそれに対する共感が感じられる「青の時代」(1902-04)の一枚。



《扇子を持つ女》1905年

油彩、キャンバス 100.3×81cm ワシントン・ナショナル・ギャラリー

National Gallery of Art, Washington D.C.,
Gift of the W. Averell Harriman Foundation in memory of Marie N. Harriman, 1972.9.19
©2015-Succession Pablo Picasso-SPDA(JAPAN)

モンマルトルのバトー・ラヴォワール(洗濯船)にアトリエを構え、恋人フェルナンド・オリヴィエと暮らし始めたピカソは、彼女や身近な人々、サーカスの芸人を暖かな色彩で描くようになり「バラ色の時代」(1904-06)が始まる。女性の不思議なポーズが、古代エジプトのレリーフを思わせ、彫刻的な印象を与えている。

担当学芸員が語る
展示会の見どころ



愛知県美術館学芸員
塩津青夏

希少な「青の時代」や「バラ色の時代」の絵画をこれほど集めたピカソ展として、日本では過去最大のものです。海外でもほとんどまとめて見るのできない時期の貴重な作品なので、世界的にも注目を集めるでしょう。パリやバルセロナのピカソ美術館をはじめとする国内外の美術館からも協力を得て開催する本展、ぜひご覧ください。

Check!

本展では、少年期から壮年期まで、各時代のピカソのポートレートも紹介される。ピカソといえば、ボーダーのTシャツ、白髪の禿頭、鋭い眼光という中年以降の姿がおなじみだが、若き日のピカソの姿もぜひ会場でご覧いただきたい。

Check!

「青の時代」や「バラ色の時代」の頃、ピカソは貧しい生活を送っていた。一度描いたキャンバスの上に重ねて絵を描いたりしたため、残っている作品の数も少ない。こうしてまとめて見られる機会は非常に貴重だ。

もっとピカソ!

レストラン&カフェ編

愛知芸術文化センターにはカフェやレストランがあり、ティータイム、ランチタイム、パーティタイムと、ニーズに合わせて様々な飲食を楽しめる。そんなお店の中から今回は、「ピカソ、天才の秘密」展に合わせて〈12/1(火)～3/21(月・祝)〉コラボレーション企画を実施する3店をご紹介します。スイーツから本格的なコースまで揃った特別メニューは、いずれもピカソをイメージして考案されたものばかりだ。素材から配色や盛り付けにもこだわった料理を、舌でも目でも味わってみて!

※料金はすべて税込み価格



ウルフギャング・バック

ウルフギャング・バック(愛知芸術文化センター店) [10階・11階]

米アカデミー賞授賞式後のパーティでも手腕を發揮したウルフギャング・バック氏に由来する、カリフォルニア料理のレストラン&カフェ。メニュー豊富なランチは、ちょっと遅めの時間まで利用できるのが嬉しい。また夕刻からは、移ろいゆく景色を眺めながらパークウインターでグラスを傾けるのもオススメ。



「ピカソ、天才の秘密」展
または連携コンサート(次頁参照)
チケットご持参で
コラボメニュー
200円引
(お一人様1回限り)

Special COLLABORATION Menu

ランチタイム限定コース
「カタルーニャ郷土ランチ」
……………2,700円
(1日20食限定・フリーソフトドリンク付き)

前菜「イベリコ豚のベーコンのサラダ」、メイン「真鯛のオープン焼きロメスココース」に、デザート「カタルーニャ」までがセットになったコース。ピカソの生まれたスペインの伝統的料理にならない、シンプルな調理で素材の旨みを引き出している。前菜はカタルーニャ地方の家庭料理「パンコンマテ」をヒントに、ニンニクとトマトが効いた一皿。イベリコ豚の脂によって香りまで美味しい。また、海が近いカタルーニャでは魚介料理も定番。メインの真鯛には、アーモンドやトマト、パプリカから成るロメスコソースがかかり、色彩も鮮やかだ。最後は、日本でもおなじみのスペイン・スイーツ「カタルーニャ」で大満足!

12/22(火)～12/27(日)、1/3(日)・1/4(月)は、このメニューをご提供できません。

DATA
営業時間◎11:00～23:00 ※ランチタイムは11:00～17:00。
定休日◎第1・第3月曜日(祝日、振替休日の場合はその翌日)
※センターの休館日に同じ ☎052-957-5755

喫茶るるば Le Repos [8階(ギャラリー内9階)]

常時5種類ほどあるケーキの数々と、ボリュームもたっぷりのサンドウィッチが人気メニュー。それらに合わせる飲み物にはコーヒーのほか、ハーブティー各種も用意されている。

DATA
営業時間◎10:00～18:00
※金曜日のみ10:00～20:00。
定休日◎毎週月曜日
(祝日、振替休日の場合はその翌日)
☎052-972-0839

Special COLLABORATION Menu

カモミール入りの
はちみつ紅茶&ポルボロン
……………600円

「ポルボロン(polvoron)」は、スペイン語【polvo】が「粉」を意味するとおりポロポロとした食感が特徴。ピカソの生まれたアンダルシア地方が発祥とされ、口の中で溶けるまでにポルボロンと3回唱えたら幸せになるという言い伝えもあり、スペインではクリスマスに欠かせない。そんな伝統菓子ポルボロンと、スペイン産の紅茶をセットにした特別メニュー。紅茶は香りもさることながら、ほんのりとした甘さにも癒される。



「ピカソ、天才の秘密」展
または連携コンサート
チケットご持参で
コラボメニュー
1割引
(お一人様1回限り)

アフロディーテ [2階]

コーヒー、紅茶などの喫茶利用のみならず、空腹時にも助かるカフェ。カレーやパスタ、ハンバーグなど洋食もあれば、日替わり弁当、そば類のような日本食まであって頼もしい!



DATA
営業時間◎10:00～19:00
※劇場の催し物によっては変更の場合あり。
定休日◎第1・第3月曜日(祝日、振替休日の場合はその翌日)
※その他の月曜日はイベントにより営業。
☎052-972-0925

Special COLLABORATION Menu

“秘密の”ゼリー
……………600円

「青の時代」から「バラ色の時代」へ——ピカソの画風の変遷をイメージした、色鮮やかかしてフルーツ満載の贅沢スイーツ。パイナップルやバナナの入ったゼリーをベースに、ブルーベリー、ブラックベリー、ラズベリーといった木いちご類、森いちごのワイルド・ストロベリー、カシスまでが散りばめられている。さらにバナナアイスをたっぷり盛り付けた嬉しい逸品だ。

「ピカソ、天才の秘密」展
または連携コンサート
チケットご持参で
コラボメニュー
1割引
(お一人様1回限り)



※展示内容は貸し出し状況によって変わります。ご了承ください。
3/1(火)～3/15(火)は整理休館日。

もっとピカソ!

アートライブラリー編

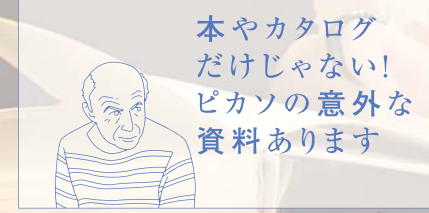
愛知芸術文化センターのアートライブラリーは、美術や音楽、演劇、ダンス、映像など、アート関連に特化して資料を収蔵している、日本国内でもめずらしい図書館。書籍はもちろんCDやDVDも充実。楽譜の貸し出しまで行っている施設は、なかなか他にはありませんよ～。
そんな愛知の誇るアートライブラリーでは「ピカソ、天才の秘密」展の会期中、400点以上もある関連資料の中から厳選して、特設コーナーをご用意! 展覧会の鑑賞の前後に、ぜひご活用あれ!!

スタッフがおすすめするピカソ関連資料3連発!!!



ピカソ
著者：瀬木慎一
集英社(2003年)
いち押し! コメント

「ピカソの生涯をざっと見渡せる1冊なので、入門編としてオススメです。作品に触れるというよりはアーティスト像に迫ったものなので、ピカソの人となりを知ることから、その魅力の深みへと入っていただくといいんじゃないかと思います」



Picasso - The Early Years, 1892-1906
著者：Marilyn McCully, Natasha Staller
National Gallery of Art(1997)
いち押し! コメント

「ワシントンのナショナル・ギャラリーで行われたピカソ展のカタログです。愛知の展覧会と同様、初期作品に焦点を当てている点が貴重。日本では今回初めてキュビズム以前のピカソへと本格アプローチしているの、この海外カタログは予習に最適ですよ」

前述のとおり書籍だけでなく映像も充実しているアートライブラリーには、なんと今度の展覧会と同じタイトル「ピカソ 天才の秘密」というドキュメンタリー作品も収蔵されている。本人出演のレア度もさることながら、ピカソがクリアガラスに絵を描く趣向では、普通だったら見られない創作中の正面顔を



ピカソ キュビズム 1907-1917
著者：ジュゼッパ・パラウ・イ・ファブレ/監訳：大高保二郎
平凡社(1996年)
いち押し! コメント

「左の2冊を読んで、さらに気になった方はコチラをどうぞ。ピカソの最初のピークの頃を中心に、みなさんがよく知っているキュビズムの作品をたくさん見られます。本書に書かれている「若さと冒険と実験と…」というフレーズもぴったりの時代ですね」

を知ることができるから必見。またピカソといえば、ジャン・コクトーら同時代の天才たちと同じく、舞台芸術の分野でも精力的に活動した。「ピカソとダンス/パリ・オペラ座バレエ」は、その舞台裏のドキュメンタリーとともに上演の様子も記録されている希少な映像資料なので要チェック!

Check!

アートライブラリーには、書籍、西洋美術文献、楽譜、CDなど、約14万点の芸術関連資料が収蔵されています。我々スタッフも調べたいことがあれば、すぐにライブラリーへ、とても頼もしい味方です! (広報担当：小出充訓)



2014年、カーネギーホール公演の様子

ク ラシック音楽などで親しまれる愛知県芸術劇場コンサートホールに、パリ・オペラ座バレエのエトワールたちがやってくる。フランス語で星を意味する「エトワール」とは、同バレエ団最高位の称号。つまりは、世界最高峰のダンサーというワケだ。そんなエトワールの中でも屈指の人気を誇るエルヴェ・モロー、ドロシア・シルベール、そしてマチユー・ガニオが登場！ 気鋭演奏家とともにダンスと音楽の饗宴をくりひろげる。

発端は、モローがピアニストのジョルジュ・ヴィラドムスとNYのカーネギーホールで上演した舞台「バレエと音楽の夕べ」。これが大評判を呼び、他の都市での公演を計画している時、当劇場のコンサートホールに白羽の矢が……。

「空間的にカーネギーに近い感じがあるからでしょうね、エルヴェから相談を受けました。私も、柔軟に使えるコンサートホールをもっと有効活用できないか日頃から考えていて、この企画であれば音楽を好きな方とダンスを好き



© Ann Ray 三浦文彰 © Kotaro Yokomizo

月夜に煌めくエトワール
Stars in the Moonlight
2016年 1月13日(水) 19:00
愛知県芸術劇場
コンサートホール

SS席12,000円 売切
S席10,000円 A席6,500円
B席4,500円(学生3,000円)
チャレンジシート1,000円
※学生料金は25歳以下対象(要学生証)。
※5歳以下のお子さまは入場できません。
※チャレンジシートは公演当日10:00～、
愛知芸術文化センター内プレイガイドでのみ販売。

**エルヴェ・モロー緊急来日
制作状況を聞きました!**

「日本の月の神「ツクヨミ」の存在を知って作品にしたいと考えた時、振付は中村恩恵さんしかいないと思ったんです。2001年にイリ・キリアンがパリ・オペラ座に振付した際に、恩恵さんにも初対面。以来、一緒に仕事がしたくて仕方なかったの……。だから今はもう幸せ♡。稽古当初は振付されても、ため息とともに彼女を見つめるばかりで、身体が動き出すまで2日ほど掛かりました(笑)。神聖かつポエティックな作品になりそうなので、早く観客の前で踊りたいですね。この企画には最初から「月の旅人」というテーマがあり、スペクタクルにして詩的な世界を目指してきました。神秘的なイメージだけに、日本で公演できることが本当に嬉しいです」



↑左から唐津絵理シニアプロデューサー、エルヴェ・モロー

↓「ツクヨミ」の稽古風景

**コンサートホールで踊ったってイイじゃない！
パリ・オペラ座のスターを迎え、新企画が誕生**

な方、両方のお客様に来てもらえるのでは？ と思い、「一緒にやることが決まったんです」と、唐津絵理シニアプロデューサー。

日本公演に向けてヴァイオリニストの三浦文彰も参加。小品を集めた軽やかなプログラムながら日本初演・世界初演も多く、その中にはモローとガニオの貴重な男性デュオ(!!)、中村恩恵による振付作「ツクヨミ」など、世界中のファン垂涎の作品が並ぶ。

この「月夜に煌めくエトワール」を皮切りに、愛知県芸術劇場では、ダンスコンサートの可能性を模索。今後もし新しい企画を予定しているの、まずは第1弾をお見逃しなく！



バス 鹿野由之
テノール 中井亮一
ソプラノ 高橋薫子
指揮 井崎正浩



管弦楽 名古屋フィルハーモニー交響楽団

ピカソの見た夢

愛 知県美術館の「ピカソ、天才の秘密」展に合わせ、愛知県芸術劇場ではピカソにまつわる音楽を集めたコンサートを開催する。特に今回のプログラムは彼が舞台美術や衣装を手掛けたバレエの音楽を中心に構成されている。水野学シニアプロデューサーに話を聞いた。

「サティの『バラード』は、台本をジャン・コクトーが手掛けていて、曲の中にサイレンやタイプライター、ピストルの音などが入るんですよ。だから、ちよつと奇抜な演奏になりますね。『ファリャの「三角帽子」』はピカソ関連では代表的な舞台だと思えますが、スヘインの太陽が照りつけるような情熱的な作品。そして、ストラヴィンスキーの『プルチネッタ』は全曲版を披露します。これはイタリア古典派音楽の作曲家ペルゴレージの作品に基づいているんですが、編曲というよりはストラヴィンスキー自

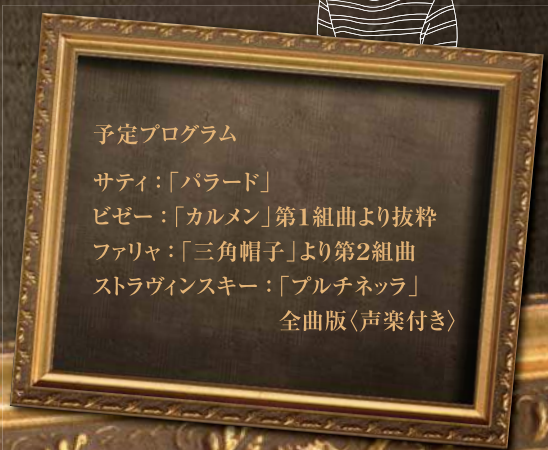
身のものとなっている。言うなれば、劇的ビフォーアフターみたいな感じででしょうか(笑)。新古典主義の幕開けと言えるような、古きを尊重しつつ進化していった作品でもありますね。声楽付きはいい企画になるなど感じましたし、色合いも他の2曲とは違う。何より抜粋よりオリジナルが絶対イイと思ったので、演奏の珍しい全曲版をプログラムに組み込んだんです」

ちなみに、前述の3作品はいずれも20世紀舞踊史に燦然と輝くロシアのカンパニー、ディアギレフ率いるバレエ・リュスによって初演された。そんなことに想いをよせながら鑑賞するのも興。また、同じくバレエはもちろんオペラやミュージカルでも親しまれる、ビゼー作曲「カルメン」からの抜粋も。さらに視覚的な趣向まで凝らされ、起伏に富んだコンサートになることは必至だ。

愛知県美術館「ピカソ、天才の秘密」展 連携コンサート

「ピカソの見た夢」

2016年 3月20日(日・祝) 15:00
愛知県芸術劇場コンサートホール
SS席7,000円 S席5,000円 A席3,000円(学生1,500円) B席2,000円(学生1,000円)
【ピカソ特別セット券】5,700円(6,500円相当)
【「ピカソの見た夢」コンサートS席+「ピカソ、天才の秘密」展入場券/100セット限定】
※学生料金は25歳以下対象(要学生証)。
※未就学のお子さまは入場できません。
※ピカソ特別セット券は、12/1(火)～12/13(日)は愛知県美術館ミュージアムショップにて、12/18(金)～2/28(日)は愛知芸術文化センター内プレイガイドにて販売。なくなり次第終了。



予定プログラム
サティ:「バラード」
ビゼー:「カルメン」第1組曲より抜粋
ファリャ:「三角帽子」より第2組曲
ストラヴィンスキー:「プルチネッタ」
全曲版(声楽付き)

Check!



テノールの中井亮一さんは名古屋芸術大学の卒業生で、大学院修了直後の2003年には、主催公演の「椿姫」に、ガストン役でご出演いただきました。現在では最も期待される若手歌手のひとりとして、藤原歌劇団で活躍されています。(プロデューサー:加藤愛)

朗読と合唱が加わって、ムードまんてん★

パイオルガンの魅力を味わえる恒例コンサート。今年は、11月のオペラガラコンサートでも名演を聴かせてくれたオルガニスト勝山雅世が再び登場。また山口浩史の指揮のもと、実力者揃いで知られる愛知県芸術劇場合唱団約40人も加わり、迫力を増したステージが展開される。

そして今回いちばんの聴きどころ見どころは、後半の幕開けを飾る絵本とのコラボレーション。海外でいち早く評価を受けた刀根里衣の「きみへのおくりもの」は、猫の世界を題材に大切な相手への想いを描いた作品なので、老若男女を問わずキュンとくるはず。愛知を拠点に活躍中の俳優・河村祥が朗読する。

「刀根さんの絵と言葉は、音楽と一体になった時のイメージがすぐ浮かびました。それと、このコーナーの最後に演奏するW.T.トッドの『ザ・コール・オブ・ウィズダム』がすごくイーンですよ。偶然に出会った作品なんですけど、オルガン音楽という宗教曲の側面が



オルガン 勝山雅世



指揮 山口浩史

- ★ 予定プログラム
- ☆J. シュトラウスⅡ世：オペレッタ「こうもり」序曲
 - ☆J. ラター：降誕のキャロル
 - ☆サン＝サーンス：プレリュードとフーガ op.99-3
 - ☆絵本の投影 & 朗読 + オルガン&合唱
～刀根里衣作「きみへのおくりもの」
 - ☆モーツァルト：アヴェ・ヴェルム・コルプス
 - ☆J. ラター：ウィンチェスター・テ・デウム 他

クリスマスはオルガンだ! 2015
～合唱と共に～
12月23日(水・祝) 14:00
愛知県芸術劇場
コンサートホール
一般2,000円 小学・中学・高校生1,200円
※全席指定。 ※未就学のお子さまは入場できません。

昨年の公演風景 Photo: 中川幸作

若き俊英を迎えたオールロシアン・プログラム 終演後には、楽員による公開レッスンも!

2016年も早々に、NHK交響楽団が定期演奏会を行う。今回の指揮は、ベルリン・ドイツ交響楽団とボリシヨイ歌劇場管弦楽団の音楽監督を務めるトウガン・ソヒエフ。また、シヨバン国際ピアノコンクールやチャイコフスキ国際コンクールで頭角を現してきたピアニスト、ルーカス・ゲニューシャスが客演する。ソヒエフ30代、ゲニューシャスは20代。新時代の担い手たちと日本を代表するオーケストラN響は、どう響き合うか。



NHK交響楽団 Photo: 中川幸作

近代ロシア音楽の巨匠グリグに始まり、名曲を数多く遺したラフマニノフの「ピアノ協奏曲 第2番」をばさんで、そのラフマニノフが尊敬してやまなかったチャイコフスキの傑作「白鳥の湖」へと続く、オールロシアン・プログラムも楽しみだ。

なお、終演後にはN響の楽員による公開レッスンを開催。今回は首席フルート奏者の甲斐雅之が指導にあたる。部活動でフルートを演奏している中高生から25歳以下の音大生、卒業生まで申込みOK。また聴講コースもあるので、指導者の方もこの機会にプロの息遣いを感じてみませんか?



指揮 トウガン・ソヒエフ © Mat Hennek



ピアノ ルーカス・ゲニューシャス



甲斐雅之

NHK交響楽団定期演奏会 (愛知県芸術劇場シリーズ)
2016年1月24日(日) 15:00
愛知県芸術劇場
コンサートホール
S席13,000円(学生2,500円)売切 S席10,000円 A席8,000円 B席6,500円 C席5,000円(学生2,500円)売切 D席4,000円(学生2,000円)売切
※学生料金は25歳以下対象(要学生証)。 ※未就学のお子さまは入場できません。

N響首席フルート奏者 甲斐雅之による公開レッスン

日時◎2016年1月24日(日) 18:00頃から
※N響公演終了後
会場◎愛知県芸術劇場中リハーサル室
料金◎受講1,000円(12/21(月)必着) 聴講500円(1/18(月)必着)
※詳細はホームページ参照、または愛知県芸術劇場までお問合せください。



Photo: 中川幸作



今回から公開レッスンの会場が、中リハーサル室になりました。今までよりコンパクトなスペースになったことで、受講者の緊張も軽減するはず! 聴講の皆さんとの距離もぐんと近くなり、集中できる環境になりますよ。(アシスタントスタッフ: 坂田彩乃)

型や枠に収まらない音の競演に驚ガク

サウンドパフォーマンスを核としたパフォーマンスを広く公募。選考を通過したツワモノたちの競演が2度目を迎える。各日、ゲストパフォーマンス2組を含む組ほどが出演予定。ジャンルの枠組みに収まりきらないステージパフォーマンスからは、身体表現の可能性や振り幅まで見えてくるかもしれない。藤井明子シニアプロデューサーは「例えば演劇に台詞となった、声やSE(音響効果)が必要だとするならば、そこから、音へのアプローチがあつてもいいはず。音楽以外のジャンルで音に注目している人が集まれば、舞台表現の

次の可能性にもつながっていくと思うんです」と語る。今回はゲストパフォーマンスも選考に加わるので、より多彩な顔ぶれが並ぶ可能性大。ただし、本誌編集集中の現在は募集・選考の真っただ中。どんなメンバーが登場するかは当日のお楽しみにして、ここではゲスト陣をご紹介します! やいます!

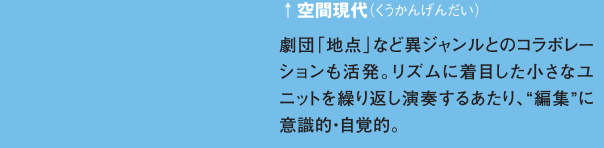


2/28 sun photo by bozzo

→ 振子びじん(ねじびじん) 鷹赤見率いる大駱駝艦を経て、パフォーマンスに。見えない音を感じさせるような、音楽がないのに音楽を感じさせるような、予期せぬことから音を想起させる異能の人。



↑伊東篤宏(いとあつひろ) 蛍光灯の放電ノイズを用いる自作音具「オプトロン」の瞬きとノイズな音が観客の目も耳も刺激する。蛍光灯って音を出すけど、こう来るかと驚くはず。 photo by Maezawa Hidelo



↑空間現代(くうかんげんだい) 劇団「地点」など異ジャンルとのコラボレーションも活発。リズムに着目した小さなユニットを繰り返し演奏するあたり、「編集」に意識的・自覚的。

→ Sachiko M(さちこえむ) 時報に代表されるサイン波を使い、ミニマルな音のパフォーマンスを追求。「あまちゃん」の挿入歌「潮騒のメモリー」の作曲でも知られるので、ギャップにも驚くべし。



サウンドパフォーマンス・プラットフォームは、作品ごとのセッティングに少々時間がかかります。今回は、その時間を利用して、藤井プロデューサーが聴きどころなどを話すことに。肩の力を抜いて楽しんでもらえると嬉しいです。(アシスタントスタッフ: 村松里実)

伝説的ダンスで、WS参加者が燃え尽きる!?

コンテンポラリーダンス界の雄、B.A.T.I.K.を主宰する黒田育世が、タダゴトではないワークショップを敢行! 彼女が2005年に新潟の気鋭カンパニー・Noism05へと振付した「ラストパイ」を、ワークショップ参加者で完全再現する。これだけ聞くと、どこがタダゴトじゃないの?と思われるだろうが、この「ラストパイ」は約40分間を全力で踊り続ける決死のダンス!? Noismの芸術監督にして日本を代表するダンサー、金森穂さえもが悲鳴を挙げたとウワサされる伝説的作品なのだ。

テクニクは一旦さておき、強靱な身体と精神力が必要になる同作。それは自らを捧げ物、あるいは(いけにえ)とするような行為でもある。あたたかも永遠に繰り返されるミニマルミュージックに乗って、トランス状態で踊り続けるダンサーたちを目の前にするうち、気づけば観客側も大興奮。舞台と客席の両方が得も言われぬ感覚に至り、体験したことのない(場)が出現す



黒田育世レパートリー公演
2016年2月11日(木・祝) 15:00
愛知県芸術劇場小ホール
【前売】一般2,500円 学生1,500円
【当日】一般3,000円 学生2,000円
※全席自由。
※学生料金は25歳以下対象(要学生証)。
※3歳以下のお子さまは入場できません。



黒田育世

「ラストパイ」前回公演より

キレッキレ、時々、ムラフ 気鋭音楽家5人組が愛知に初登場

気鋭音楽家5人組が愛知に初登場



鋭集團東京現音計画が、活動ベースである関東から飛び出して初ツアーを敢行。ここ愛知でベストセクションと銘打ったステージを披露する。これまでの委嘱作や日本初演となったレパートリーなどで構成されるプログラムは、彼らを知る上でまさにベストだ。

第13回佐治三賞受賞でも証明されたとおり、現音計画の身上は演奏水準の高さとチャレンジ精神に満ちた企画性にあり、企画性は遊び心とも言い換えられそう。

「メンバーは、個人で精力的に活躍している方ばかり。編成が変わっているのに必然的に委嘱作が増え、若い作曲家によるレパートリーが多いです。また、エレクトロニクスのアートイストがあるので、電子音響が入ることを前提としている曲が多いのも、現代的というか、今っぽいですね。それに彼らの演奏にはユーモアもあって、難しいことがわからなかったとしても、ちょっと楽しいんですよ」とは藤井明子シニアプロデューサー。

予定曲目を見ても、足立智美「かゆいのはそこじゃない」など、題名からして笑える!? 「例えば、ネーレ・ヒュルツカーの

「neorups」は楽器らしからぬ楽器(ー)を演奏する曲で視覚的にも面白いですし、稲森安太巳の「息の合う二人」も演奏に、掛け合いの妙が感じられるはず。各人それぞれのテクニクを發揮しつつ、「そういう風に吹くか!?」とか「そこまでやるか!」と思わせてくれるのが現音計画の魅力です」と藤井。



有馬純壽◎Sumihisa Arima
エレクトロニクスやコンピュータによる音響表現を担当。ジョン・ケージ、スティーヴ・ライヒ、武満徹ほか名だたる作曲家の作品の演奏を手がけてきた電子音響の第一人者。会田誠、小沢剛ら昭和40年会など、美術家とのコラボレーションも多い。



黒田亜樹◎Aki Kuroda
ピアニスト。国内外で受賞多数、クラリネットのA・カルポナーレほか共演歴も華やか。伊ハルマでキース・エマーソン「タルカス」を現代作品として蘇らせた際には熱狂的に迎えられた。現在、スクリャーピンのソナタ全集を録音中。

橋本晋哉◎Shinya Hashimoto
チューバ奏者。古楽器の一種である低音の金管楽器「セルパン」の演奏も。秋吉台現代音楽セミナー、サントリー芸術財団サマーフェスティバル、コンボージアムなどにソリストとして参加。ユニット「低音デュオ」でも活動中。



神田佳子◎Yoshiko Kanda
打楽器奏者。国内外で活躍。一柳慧ほか日本を代表する作曲家の新曲を初演する一方、若手との共同作業も多数。正倉院復元楽器の演奏やジャズピアノとのデュオなど、時代もジャンルも超えた活動によって打楽器の可能性を追求し続ける。

長崎、広島、福島、そして長崎 土地に焼きつくドラマを探して

劇作家・演出家の松田正隆率いるマレビトの会が、久々に愛知で公演。松田の重要なテーマである故郷・長崎を扱った作品、その名も「長崎を上演する」を上演する。

2009年に始まった「ヒロシマーナガサキ」シリーズから、原発事故以降の社会とメディアの関係に焦点を当てた「アンティゴネーへの旅の記録」とその上演「まで、松田は改めて演劇表現の試行錯誤を繰り返してきた。ストーリー性の高い群像劇の名手だった彼が、物語の存在を根本から問い直し、演劇の在り様に疑いをもって立ち向かう姿は美しくも、

険しく苦しい道程に映った。それらを踏まえ、13年には「長崎を上演する」のプロジェクト始動。複数の劇作家が実際に長崎の地で取材して小編の戯曲を書き、それを松田が構成・演出する同作は、様々な反響を呼びながらシリーズ上演されてきた。今回の愛知公演では、そんな3年間の集大成を観られることに。山本麦子プロデューサーは言う。

「長崎のことを想起して舞台上に立っている役者からは、どこまでがドラマで、どこまでがドキュメントなのかわからない印象を受けます。それは、どこまでが役者の身体で、どこまでが登場人物の身体なのかという問い



「長崎を上演する」vol.3 Photo: 青山真也



「長崎を上演する」vol.4 Photo: 西野正将

マレビトの会「長崎を上演する」
2016年**3月26日(土)・27日(日)** 15:00
各日、上演内容が異なります。
愛知県芸術劇場小ホール
【前売】一般3,000円 学生2,000円
【当日】一般3,500円 学生2,500円
【2日間通し券(前売)】一般4,000円 学生3,000円
※学生料金は25歳以下対象(要学生証)。
※未就学のお子さまは入場できません。

でもあり、演技の境界、物語の境界、演劇の境界というものを突きつけてくるという……。この「長崎を上演する」では、被爆都市として歴史上、大文字の長崎を、普通の都市像として劇場に出現させられないかという試みが行われています。その様子は、土地からポコンポコンと言葉が浮かび上がってくるような感覚。松田さんが作家として長崎を背負うがゆえに、そうではないことを提示したいという想いを感じますし、そこから日本の現在も透けて見えるんです」

劇作家陣にドイツからの参加者も。貴重な演劇的実験を目撃せよ

本作は「ミニセラ」のフィナーレにふさわしく国際プロジェクトにもなっていて、劇作家陣にはドイツからの参加者もいるという。山本プロデューサーからは「果敢な企画をやってきたミニセラが(場)として熟せばいいですよ。『長崎を上演する』は、音響など入らず、道具もパイプ椅子ぐらいしかないで、役者がしゃべる様子を観るだけとも言える舞台。ただ、シンプルで地味なように見えて、内面にはいろいろなものがある。めったにない企みの共犯者になるつもりで(笑)、ぜひ足をお運びください」と力強いメッセージ。もはや演劇史の証言者になるしかない!

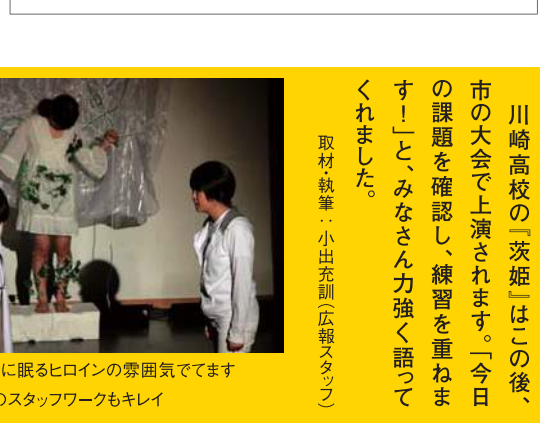


「長崎を上演する」vol.2 Photo: 西野正将

今、観てほしい作品!
パフォーミングアーツ界の
先駆者たちが愛知に。



最後はみなさんと記念撮影!!



↑病院で孤独に眠るヒロインの曇り顔がてます
+照明さんとのスタッフワークもキレイ

そして、戯曲を脚色したのが2年生の鈴木未夢さん。「まずは60分の上演時間に収めるようにするのが大変でした。セリフのつながりや配役も考えて...」。その成果、ちゃんと出てきましたよ!

取材執筆: 小出充訓(広報スタッフ)



講師の 大西彩香さん

講師の大西彩香さんは「彼女たち自身が成長できる戯曲を探していました。『茨姫』を読んで、「やってみよう」と思ったんです」とのこと。

会場の視聴覚ホールは、客席と舞台の距離が近く、緊張が伝わってきます。11人の部員が出演照明音響などを兼任しており、まさにチームプレイ。観終わった水都さん、思わず「青春だな」と呟っていました。

神奈川県立川崎高等学校の文化祭「輝葉祭」で演劇部が「茨姫」を上演するということが、9月20日、山本麦子プロデューサーと作者の水都サリホさんが同校を訪問しました。



水都サリホさん&山本麦子プロデューサー、川崎高校に到着!

ああ、青春の
高校演劇!
第14回 AAF戯曲賞受賞作
「茨姫」を、
神奈川県立川崎高等学校
演劇部が上演。



ドラマの現場は 緊張感ヒシヒシ NHK名古屋放送局に潜入!

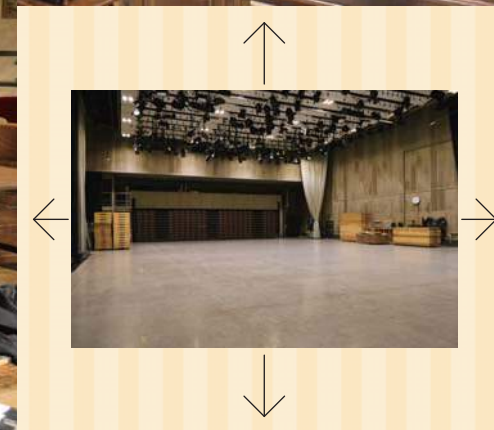
NHK名古屋放送局は、愛知芸術文化センターのすぐ隣にあり、人が観るものを制作する現場という点で共通している。でも、テレビ番組の制作と舞台芸術の制作、そこには本当に共通点があるのか、それとも全然違った現場なのか？ そんな素朴な疑問を胸に、NHKスタッフのみなさんを直撃。ドラマ撮影中のスタジオにも潜入させていただきました!



カラのスタジオが、こんな風に変貌! 名古屋放送局にはふたつのテレビスタジオがあり、ドラマ撮影に使われる第1スタジオは広さ約29m×18m(170坪)、高さは1階から3階の吹き抜けになっている。公開番組用に電動スライド式の客席も完備し、200席が約5分で出し入れできるといふ。また、約1分で90cmまでせり上がるステージも備えていて劇場も顔負け!? なお、第2スタジオは約18m×12.5m(80坪)で、対談や座談会などのトーク番組で活躍。

お 邪魔したのは1月から放送されるドラマ10「愛おしくて」の撮影スタジオ。ニュースのような生放送の現場が緊迫するのは想像に難くないが、収録であるドラマの現場にも独特の緊張感が張りつめていた。1テイク10秒ほどで「はい、カット!」の声が掛かり、見学しているだけでドキドキ。広報・事業部に話を聞いた。「この連続ドラマは、9月下旬から12月まで撮影予定です。ドラマの撮影はご覧いただいたように、1シーン1シーンをていねいに撮影しています。出演者、スタッフが多いので、スケジューリング調整もとても大変なんです。必要シーンが撮れたら、収録と並行して編集作業が始まります。ドラマの場合は概ね放送の数週間前には完成していますが、ニュース・報道番組の場合など、前日や当日編集ということもあります。番組の性質によって制作の舞台裏は様々です」

同じ、芝居、という言葉を使ったりするが、テレビドラマと演劇では制作過程がかなり違う。一度に観る人の数も全く異なり、共通点は乏しいのかもしれないが、後ほどご紹介する美術担当の映像デザイナー・小林史幸さんのコメントには、どんなモノづくりの現場にも通じる部分あり。また「名古屋放送局は全国に7つある拠点局のひとつで、中部7県の地域文化の発展に貢献することも使命だと考えています」という広報・事業部のお話にも共感。地元に対して何か協働できることはないか、今後ますます探っていきたいと思う取材になった。



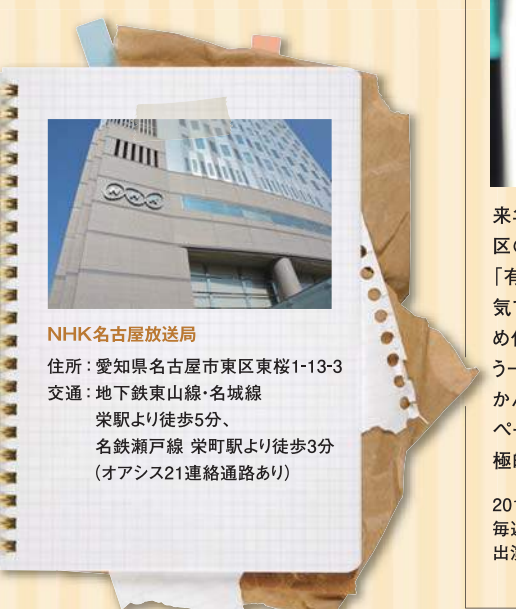
- ①「愛おしくて」は絞り染め作家が主人公。色鮮やかな染物が並ぶ
- ②劇場とは吊り方の密集度が異なる照明。第1スタジオの場合は、その数なんと約600個!!
- ③かつて撮影されていた「中学生日記」からの流用とおぼしきセット発見! 道具は、できるだけ大切に使い回すとのこと
- ④劇場でもおなじみの平台には、NHKの文字がびっしり
- ⑤カメラ機材の中には大きなものも。撮影中はみなさん、奥のモニターを凝視していました



登場人物たちの憩いの場となる「喫茶タイガー」のセット。メニューも本物ながら、店内の装飾品には名古屋制作らしく金シャチの置物もあって心憎い



スタジオとは別に、倉庫も見学。架空の雑誌の詰まった本棚や、別のドラマで使われた「飛騨バス」の停留所を目撃



NHK名古屋放送局
住所: 愛知県名古屋市中区東横1-13-3
交通: 地下鉄東山線・名城線 栄駅より徒歩5分、
名鉄瀬戸線 栄町駅より徒歩3分
(オアシス21連絡通路あり)

NHK名古屋の最新番組情報

ドラマ10「愛おしくて」

来年1月放送のドラマ10「愛おしくて」は、名古屋市緑区の有松・鳴海地区を中心に生産されてきた絞り染め「有松絞り」を題材に取り入れた大人のドラマ。母を病気で亡くし、父に捨てられ、恋人にも裏切られた絞り染め作家の小夏(田中麗奈)が、岐阜県の小さな町でもう一度「人を愛おしく思う気持ち」に目覚め、幸せをつかんでいく。NHK名古屋放送局では、年に1作ペースで連続ドラマを制作。地元になんだ内容を積極的に取り上げ、地域発信の役割も果たしている。

2016年1月12日(火) 放送開始
毎週火曜 NHK総合 22:00~22:48(全国放送・全8回)
出演: 田中麗奈 / 吉田栄作 / 秋吉久美子
南果歩 / 小林稔侍 ほか

Staff Interview

小林史幸さん
編成部映像デザイン
チーフ・ディレクター
(映像デザイナー)

「ドラマの映像デザインは、台本を読んで、文章から三次元へと具現化するのが役割です。台本に書かれた世界観や空気感をビジュアル化するというのが……。ディレクターとも話し合いながら、具体的にセットの発注をしたり、ロケ地を取材したり、ロケとスタジオの撮影配分も調整します。ただ、セットができあがっても、それは仕事の60~70%にしか過ぎない。そこに照明が入って時間というもの流れ出し、役者が入って命が吹き込まなければ、ドラマは始まらないので。撮影中は、どこにフォーカスを当てるかも考えなければいけません。状況をリアルに見せるだけではダメで、省略や強調によって、どう表現するのか決めるどころも大切な仕事。そのためには関わる人すべての協力が必要です。それぞれの担当者の能力をどう引き出すかも重要な仕事です」

園の窓辺

金恵信 沖縄県立芸術大学准教授

年ぶりの名古屋ですこい展覧会に出会った。まずタイトルに惹かれた。「芸術植物園 Between Botany and Art」。六〇のタクシムンからなる展示は、まさに「芸術」と「植物」の間に張り巡らされた様々なレベルの関係性の「園」だった。「植物にたくす」には古今東西の美術品で人とその営みを象徴する姿が、「植物をあつめる」には成長し衰退し減る植物の姿をひとつの二次元のキャンバスに再現できる絵画芸術が並ぶ。続く「植物をみる」と「うつす」では、漆喰から写真、版画、コラージュまでが加わり、植物は見て記録する対象となる。「植物をつくる」で植物は、人の手で拵えられた造りものや偽物の姿であらわれる。「ここにふたつの窓辺が登場する。藤島武二の《造花》では、和服姿の女性が暖かそうな自然光の陽射しが入る窓辺で造花をつくっている。それぞれ花と葉っぱを持つ両手が枝のようである。ティルマンは、観葉植物を植木鉢、煙草の箱が散らかる窓辺に並べ、《夜の女王》と名づけた。外は暗闇で窓ガラスに室内の明かりが映り、植物たちは疲れと艶を漂わせながらたずむ。



会場風景

芸術植物園 Between Botany and Art
8月7日～10月4日
愛知県美術館にて開催

その姿としくみを再現するつくり手のしごこの場の窓辺に、わたしたちは立っている。昼と夜の園を交互に眺めながら。

生きること 心地よい共有

西本ゆか朝日新聞東京社会部記者

演 劇は演出家が戯曲に「生」を吹き込み、役者たちを指揮することで、響き始めるシンフォニー。水都サリホのAAF戯曲賞受賞作「茨姫」は、演出の三浦基が魔法の指揮棒を存分にふるい、重奏の果てに主旋律の余韻が甘美な尾を引く幸福な初演となった。

体が草になる「冬虫夏草症」で眠り続ける娘の夢が現実を侵し、生死の境もとろけさせる物語を、三浦は水のないプールを舞台上に描く。「ハツ」と息を吸い、「水中」で泳ぎながら台詞を語る役者たち。せわしない呼吸音は夢でもがく不安を思い出させ、聞きとらうと澄ます耳を疲れさせ、観客も水槽を満たす巨大な夢の一部であるかのような錯覚へと誘う。漂うのはけだるく、心地よい共有感だ。言葉を抽出し再構成し、凄まじい異化を加えつつも、物語の主筋は崩さない。作家と演出家と役者、三位一体で奏でる「演劇へのリスベクト」。三浦演出の小気味よい「万能性」は、捧げる愛の深さゆえでもあるのだろう。



第14回AAF戯曲賞受賞作
「茨姫」
8月13日～15日
愛知県芸術劇場小ホールにて公演



Photo: 羽鳥直志



「芸術植物園」では、展覧会限定のハーブ栽培セットが大人気でした。さらに展覧会と演劇「茨姫」のチケット、入浴剤と戯曲からなる予習セットもほぼ完売。「ピカソ、天才の秘密」展でもお得なセット券の販売、行います。(ミュージアムショップ担当: 近藤広基)



Photo: 中川幸作

THE オルガンDAY
7月28日、コンサートホール

◎幼児向けコースもできて、ますます大勢のご家族が来場。子どもたちにはディズニーの曲が人気で「アナ雪」熱唱。夜は大人たちがバッハほか本格オルガン曲を堪能しました。



コンフェティ劇団
「秘密のショートケーキ」
8月6日～9日、小ホール

◎狭い通路を通り抜け、参加者すべてが子ども気分。男女ふたりの掛け合いはコミカル、ハエさんの演奏はお見事。最後は滑り台でケーキから大脱出!

ファミリー・プログラム REPORT

7月～9月にかけて、愛知県芸術劇場の各ホールで開催されてきたファミリー・プログラム。子どもから大人まで一緒に味わった劇場体験は、きっと忘れられない思い出となるはず。そこで、写真とともに名場面を振り返りながら、各企画をレポートします!

不思議の国のアリスのクラシックコンサート
「アリスのへんてこ舞踏会
～Let's Dance!～」
8月5日、大ホール

◎文字どおり「へんてこ」な歌やダンスが飛び出し、子どもはもちろん大人もノリノリ。アリスの鶴木絵里はハマリ役、指揮の岩村力もチェシャネコ役で妙演。演者一丸の舞台に。



Photo: 羽鳥直志

劇場探検ツアー

8月27日、コンサートホール

◎すっかりおなじみジョニー隊長&ジョニー副隊長の案内で、コンサートホールを客席から舞台裏まで大冒険。秘密の部屋や通路の存在を知って、これぞ明日から劇場ツウに!?

2016年も
劇場で
待ってるよ!



編集後記

今回の特集は、「ピカソ、天才の秘密」展。レストランや劇場でご堪能いただけるピカソもご紹介しました。さて、もうひとつご紹介したいのは、センターに隣接するオアシス21の「さ嘉なや」さん。センターでの催し物のチケットを持参するだけで、ドリンク・デザート一品が無料(15時以降)! “おでかけAAC”でお邪魔した、NHKセンタービル内の「さ嘉なや はなれ」でも同様のサービスが受けられますよ!



広報担当: 小出 充訓

愛知芸術文化センター
情報誌 AAC

通巻86 2015年12月号

発行: 愛知県芸術劇場
(公益財団法人 愛知県文化振興事業団)
印刷: 駒田印刷株式会社
デザイン: 江利山浩二 (KINGS ROAD)
編集: 小島祐未子 (家鴨の編集舎)

FLOOR GUIDE

開扉：9:00 休館日：第1・第3月曜日(6月は毎週月曜日)、年末年始

- 総合案内
- レストラン
- 喫茶店
- 公衆電話
- AED
- やさしいトイレ
- 赤ちゃんコーナー
- トイレ
- 連絡通路有

12F アートスペースA~H
屋外展示スペース

(11F) 展望回廊

10F 美術館(所蔵品・企画展示室)
屋外展示スペース
ミュージアムショップ

(9F)

8F 美術館(ギャラリー)A~J

(7F) 回遊歩廊

(5F) コンサートホール

(3F)

2F 大ホール
西玄関・南玄関 オアシス21連絡橋 NHKビル連絡口

1F アートライブラリー
正面玄関

B1 小ホール
防災センター

B2 アートプラザ アートスペースX
リハーサル室
オアシス21地下連絡通路

B3 B4 B5 駐車場(アートパーク東海)

INFORMATION



愛知芸術文化センター「メールニュース」
登録受付中! 美術館、劇場の情報をEメールで配信!
ホームページからご登録ください。



ブログ、Facebook、
Twitterやっています!

チケットの主な取扱先

- ◎愛知芸術文化センター地下2階プレイガイド
☎052-972-0430(月曜定休/祝日・振替休日の場合は翌日振替)
- ◎チケットぴあ
☎0570-02-9999(サークルKサンクス、セブン-イレブンでも購入可)
- ◎アイチケット
☎0570-00-5310(祝日を除く月曜~土曜 10:00~17:00)
- ◎名鉄ホールチケットセンター
☎052-561-7755(10:00~18:00)



アクセス

- [公共交通機関]
 - ・名古屋営地下鉄東山線または名城線「栄」駅下車 徒歩5分
 - ・名鉄瀬戸線「栄町」駅下車 徒歩5分(オアシス21から地下連絡通路または2F連絡橋経由)
- [自動車]
 - ・名古屋高速東新町出口から3分
- [駐車場]
 - ・有料駐車場「アートパーク東海」(愛知芸術文化センター地下3・4・5階 約500台)

愛知芸術文化センター
AICHI ARTS CENTER
〒461-8525 名古屋市東区東楼1-13-2
TEL(052)971-5511(代表)



お問合せ

愛知県芸術劇場
(公益財団法人愛知県文化振興事業団)
広報・マーケティング室
TEL:052-955-5506(直通)
FAX:052-971-5541
e-mail:mkt@aaf.or.jp

参加アーティスト登壇イベントを開催

参加アーティストの追加が新たに発表されるなど、来夏の開催に向けて着々と準備が進む「あいちトリエンナーレ2016」。9月30日には東京・渋谷ヒカリエで、参加アーティストの山城知佳子氏をお招きし、港千尋芸術監督とのトークイベントを開催しました。

自らの出身地である沖縄を主題とした作品を制作している山城知佳子氏。映像や写真、それらを組み合わせる手法により、沖縄の伝統や歴史、そして沖縄が今置かれている複雑な状況を比喩的に表現しています。フィクションと現実が交差する物語性、濃密さを伴う詩的な表現は、観る者を強く惹きつけます。トークイベントでは、本展に向けて準備している新作の構想も語っていただきました。ベトナムや韓国のチェジュ島など海外でも撮影を行うという新しい取り組みも。「私にとって今までと全く違う撮影のしかたになるので楽しみ」とのことでした。新たな作品世界が生まれそうです。本展での展示をお楽しみに!



トークイベント当日は、新たに決定したあいちトリエンナーレ2016参加アーティストの発表も行いました。今後も公式Webサイトにて順次新しい情報を発信していきます。

トリエンナーレスクール開催中!
来年の開催に向けて、現代アートを楽しみながら学んでいただくイベントを開催しています。
詳しくは、あいちトリエンナーレ公式サイトをチェック!
aichitriennale.jp

■イベントのアーカイブ映像は下記でご覧いただけます
あいちトリエンナーレYouTube公式チャンネル
<https://bit.ly/1hDEk9v>



虹の キャラヴァンサライ

あいち
トリエンナーレ
2016

翼をひろげ、泉をさがそう——世界のアートと旅する芸術祭
あいちトリエンナーレ2016
芸術監督：港 千尋
テーマ：虹のキャラヴァンサライ 創造する人間の旅
会期：2016年8月11日(木・祝)~10月23日(日)
主な会場：愛知芸術文化センター、名古屋市美術館、
名古屋市内のまちなか、豊橋市内、岡崎市内